

■取組内容

避難者の把握を迅速化し、円滑な被災者支援を行うため、携帯電話の基地局情報を活用した人口推計による避難者の動向把握を行う。

■三重県実証実験の概要

・人数把握の対象とした訓練会場



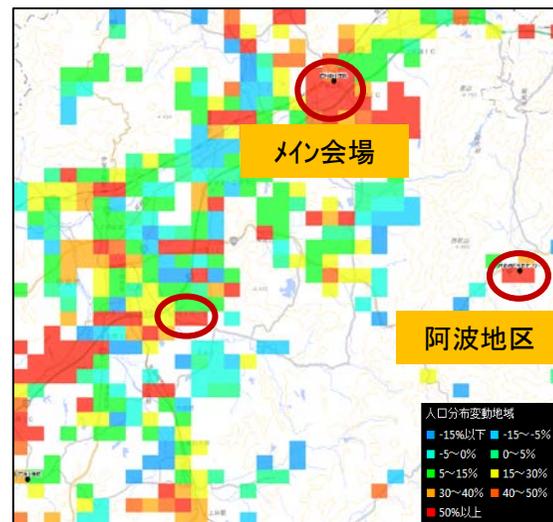
・訓練概要

実施日時：平成29年11月5日 8:00～12:00

訓練名称：三重県・伊賀市・尾鷲市・紀北町合同総合防災訓練

災害想定：直下型地震、南海トラフ地震

・実証結果



- 赤色のエリアは平時と比較して50%以上の人口増加。（訓練会場以外でも増加メッシュあり）
- 予め定められている指定避難場所や避難所との重ね合わせなどにより、指定外避難所の抽出可能性が示された。

■今後について

- 人口推計精度の向上
- 首都直下地震地域における実証実験
- 避難施設候補抽出(スクリーニング)の自動化。

指定避難所・物資集積拠点等の施設情報整理

■ 取組内容

平常時から整理しておくべき施設に関する情報について、情報項目毎に必要性を考慮し、情報項目を選定する。主な団体と記載項目について調整後、作業部会での議論を経て年度内に項目を決定。その後地方公共団体へ働きかける。

■ 整理例

指定避難所

基本情報	I D
	公開許可フラグ
	施設名称
	施設名称 (カナ)
	電話番号
位置情報	住所
	支援想定地域
施設の様態	避難場所との重複
	想定収容人数
その他	
作成日	
更新日	

※ハッチ掛けが必須項目。その他は任意。

これら項目以外に、緯度・経度や開設フラグなどの必要性が作業部会参加者よりコメントあり。今後調整する。

物資集積拠点

管理する自治体	コード
	都道府県名
	市区町村名
	連絡先
	電話番号
	FAX
基本情報	施設名称
	所有者(管理者)
	連絡先
	電話番号
	FAX
	施設の分類
	発災時の運営者
	連絡先
	電話番号
	FAX
	地域防災計画掲載の有無
	広域物資輸送拠点・地域内輸送拠点拠点の分類
	支援想定地域
位置情報等	郵便番号
	所在地
	緯度
	経度
	隣接・近接する自衛隊基地、飛行場等の情報
施設の様態	屋根(雨天対応可否)
	階数
	耐震性
	床の強度(フォークリフト使用可否)
	稼働可能時間(発災時)
	敷地へのトラック進入可否(最大車種)
	施設へのトラック接車可否(最大車種)
	トラック待機スペース
	面積(m ²)
	大型車換算(台)
	中型車換算(台)
	温度管理設備(冷凍・冷蔵)

施設の規模	敷地面積(m ²)
	施設全体の床面積(m ²)
	荷捌きスペースの広さ(m ²)
	保管スペースの広さ(m ²)
	ヘリ離発着の可否(近隣に可能場所がある場合は△)
設備・備品	非常用電源
	非常用照明
	荷役機器(台数)
	フォークリフト(動力区別)
	電気
	軽油
	LPG
	ハンドリフト
	その他機器(自由記載)
その他	
更新日	

ライフライン等の被災・復旧状況の一括把握

■取組内容

避難所への円滑な物資調達を実現するとともに、避難所運営に必要な電力・ガス・石油・小売店舗等ライフラインの被害・復旧に関する情報をリアルタイムに共有するためのプラットフォームを構築する。今年度は、物資及びライフライン情報の標準化と各事業者のAPI連携のためのルール作りをめざし、経済産業省にて検討会を開催予定。

■今後について

膨大な物資調達の円滑化等に関する検討会

- 第1回 12月20日 以後、年度内に4~5回開催予定

- メンバー（予定）

✓ 有識者

伊藤毅 株式会社レジリエンスプランニングオフィス 代表取締役
臼田裕一郎 防災科学技術研究所 総合防災情報センター長
藤沢烈 一般社団法人RCF 代表理事
宇田川真之 人と防災未来センター 研究部
沼田宗純 東京大学生産技術研究所 助教授

- ✓ ITプラットフォーマー（グーグル、ヤフー等）

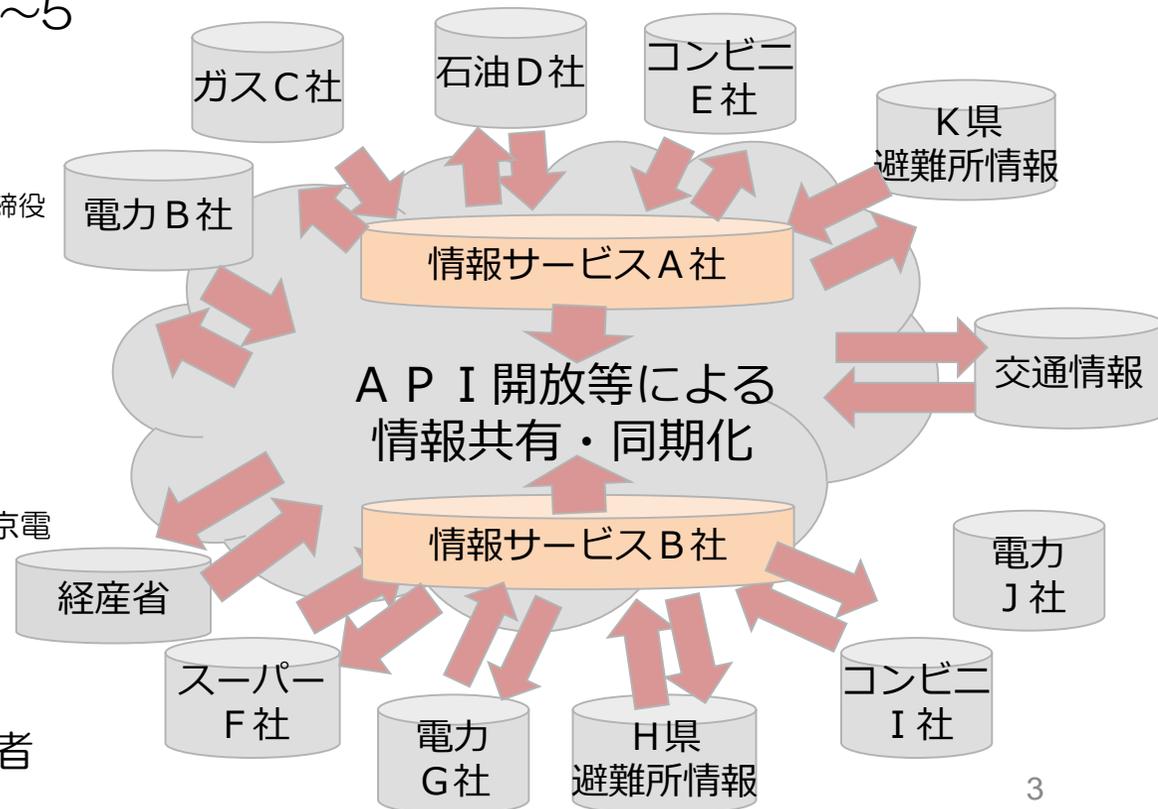
- ✓ 流通事業者（イオン、セブン・イレブン、ローソン、ファミリーマート、ユニー、イトーヨーカ堂）

- ✓ 電力・ガス・石油等ライフライン企業（東京電力、東京ガス等）

- ✓ 関係省庁及び地方自治体

平成30年度以降、プロトタイプを作成して、自治体や関係事業者との共同訓練にて実証を目指す。

ライフライン等災害情報の共有化



インフラの被災状況等の把握

■ 取組内容

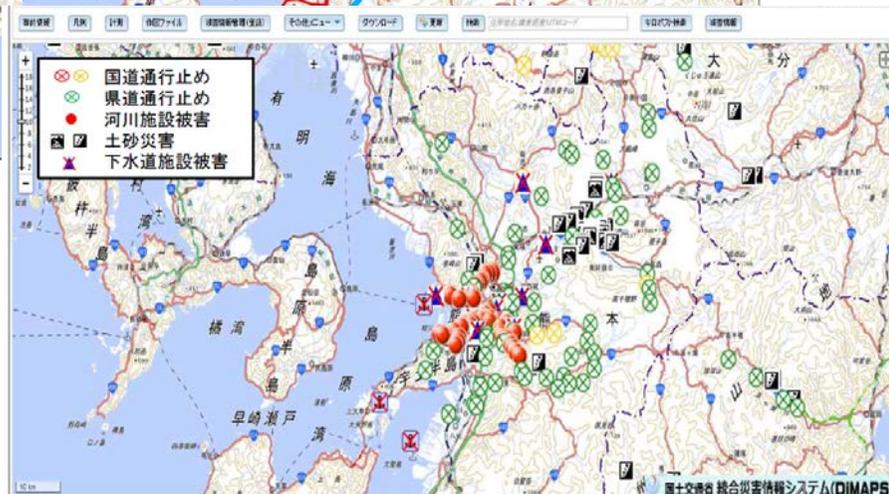
道路、鉄道、空港、港湾、河川等の被災状況、通行実績、運行・運航状況等の情報の在り処等を整理したうえで、情報提供形態等についてニーズを把握し、必要に応じ対応を検討。

■ 情報の在り処

道路交通情報センター

(道路)

DiMAPS



物資供給情報の共有

■取組内容

国、都道府県、市町村において物資供給情報を共有するために、今年度は、物資の調達・輸送に必要な物資の情報項目・単位等を整理する。

■整理例

要請品目リスト

大項目	中項目	小項目	入数	単位
食品	主食類（米・パン等）	精米		
食品	主食類（米・パン等）	小麦粉・片栗粉		
食品	主食類（米・パン等）	菓子パン		
食品	主食類（米・パン等）	惣菜パン		
食品	主食類（米・パン等）	カップ麺		
食品	主食類（米・パン等）	即席麺（袋）		
食品	主食類（米・パン等）	乾パン		

中略

衣類	男性（衣類・靴）	ハンツ・スボン（男性）		
衣類	男性（衣類・靴）	下着・インナー（男性）		
衣類	男性（衣類・靴）	靴下・タイツ（男性）		
衣類	男性（衣類・靴）	履物・靴（男性）		
衣類	男性（衣類・靴）	その他（男性衣類）		
衣類	女性（衣類・靴）	ジャケット・防寒着（女性）		
衣類	女性（衣類・靴）	トレーナー・パジャマ（女性）		
衣類	女性（衣類・靴）	シャツ類・カットソー（女性）		
衣類	女性（衣類・靴）	パンツ・スボン（女性）		
衣類	女性（衣類・靴）	下着・インナー（女性）		
衣類	女性（衣類・靴）	靴下・タイツ（女性）		
衣類	女性（衣類・靴）	履物・靴（女性）		
衣類	女性（衣類・靴）	その他（女性衣類）		
衣類	子供（衣類・靴）	ジャケット・防寒着（子供）		

供給可能量の調査項目

要請品目			
供給品情報	調達品名		
	供給可能量		
	単位		
	自家輸送		
	1 梱包あたり	入数	
		重量	kg
		サイズ	W (mm)
	D (mm)		
		H (mm)	
	1 パレットあたりの梱包数		
消費期限			
荷姿			
備考			
集荷先情報	供給者	名称	
		担当者	
		連絡先	
	出庫場所	名称	
		所在地	
		担当者	
		連絡先	
		大型車進入可否	
		フォークリフト有無	
		対応可能時間	
備考			

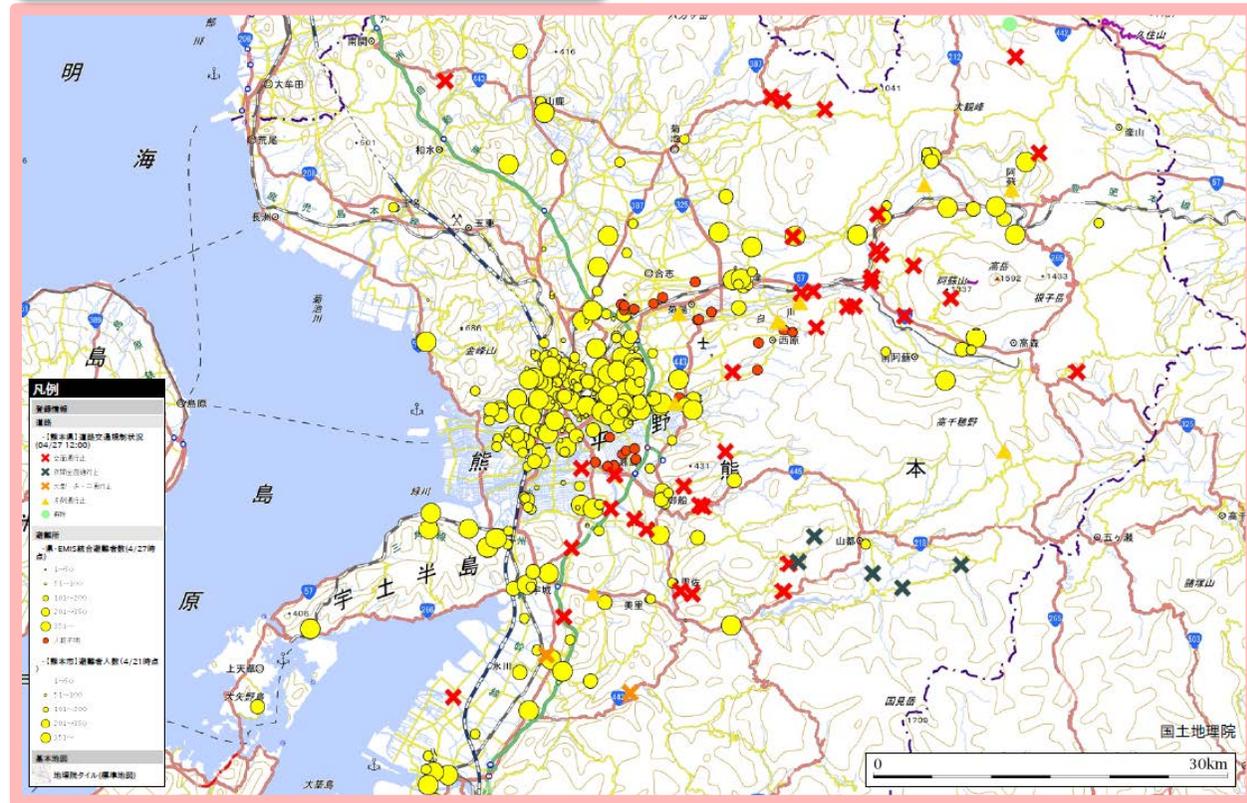
情報の円滑な共有体制

■ 取組内容

様々な主体から情報を収集し、様式を整えることのできるSIP4Dを活用し、カタログに整理された情報等を可能な範囲で一つのシステムに集約して見える化する取組を試行。



道路に関する情報 + 避難所情報



【例】災害対応時に必要となる情報としてニーズの高い道路に関する情報（規制情報）と避難所位置情報の重ね合わせ